



愛別町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界各地で猛暑や大雨、大規模な干ばつなどの異常気象が多発しており、日本においても過去に経験のない集中豪雨や猛暑が頻発し、今後災害が起こる危険性がさらに高まると予測されています。

2018年に公表されたICPP（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては「平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃未満に抑えるには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

これを受け、2020年10月に政府が「2050年カーボンニュートラル宣言」をし、2021年4月には、2030年度までの温室効果ガス排出削減目標を2013年度比46%削減することが発表されました。

このような中、愛別町においても、先人から受け継いだ豊かな自然環境を変わず未来の世代へと脈々とつなぎ続けるため、気候変動の要因となる温室効果ガスの削減に取り組み、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロの実現を目指すことをここに宣言します。

令和4年6月16日

愛別町長 矢部 福二郎